

2022 年度事業報告

(1) 2022 年度事業報告

2022 年度も理事会でご承認いただきました事業を着実に進めてまいりました。一方、I D R の将来に向けて改革の一步を踏み出す 1 年と位置づけましたが、一つの転換点になる年となりました。

過去 15 年間、みなし法人ホビークッキングフェア委員会で開催運営していた「ホビークッキングフェア」を I D R に移管し、2023 年度から I D R 事業として行うことになりました。今後に向けての収益の柱ができました。

また、2013 年度から北海道庁から事業委託を受けております、北海道食のキーパーソン育成事業「フード塾」の成果が評価され、道産食品の国内外への販路開拓を主たる事業として行っている一般社団法人北海道貿易物産振興会と包括業務提携契約を締結しました。これにより、北海道での事業をさらに拡大する基盤づくりができました。

また、理事各位のご協力により会員数も 100 社に手が届くところまでに拡大しました。今後も将来を見据えながら、会員の皆様にとって有意義な活動をしてまいります。

1. 会員事業

①新規会員 25 社入会 ➡ 3 月 31 日時点で、合計 96 社

- ・味の素株式会社
- ・いなば食品株式会社
- ・カゴメ株式会社
- ・キッコーマン食品株式会社
- ・株式会社紀文食品
- ・キューピー株式会社
- ・コンフェックス株式会社
- ・株式会社サイエンスアーツ
- ・サンヨー食品販売株式会社
- ・シマダヤ株式会社
- ・昭和産業株式会社
- ・株式会社白子
- ・東洋水産株式会社
- ・トモシアホールディングス株式会社
- ・株式会社永谷園
- ・株式会社なとり
- ・日清シスコ株式会社
- ・株式会社日本アクセス
- ・ハウス食品株式会社
- ・株式会社不二家
- ・株式会社ブルボン
- ・丸大食品株式会社
- ・三菱食品株式会社
- ・明星食品株式会社
- ・山崎製パン株式会社

②総会 2022 年 5 月 23 日 (月)

記念講演会：玉生会長

「岸田首相が掲げる新自由主義からの方向転換とは何か」
～経済学史から見る世界経済の行方～

③機関誌「流通問題」発刊

- ・58-1号(2022年5月発刊)特集「ニューノーマルな世界に向けての課題」
- ・58-2号(2022年11月発刊)特集「変貌する世界にどう対応するか」

④IDR通信(Vol.139~150)

2. 収益事業

<調査事業>

①消費者動向調査

- ・アジア6か国(中国、タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、フィリピン)の生活者インサイトと日本製品の利用動向調査:2022年10月
- ・日本国内消費動向調査:2023年2月

<IDR主催セミナー事業>

①IDR研究交流会

- ・第339回(2022年8月3日):ハイブリッド形式(参加者29名)
「アフターコロナ時代のコンプライアンス対応」
～環境変化がもたらすコンプライアンス課題にどう対応するか～
インターワイヤード(株)MR事業部長・チーフアナリスト 市川敬之氏
- ・第340回(2022年9月16日):ハイブリッド形式(参加者47名)
「ウクライナ危機とわが国の資源・食糧安全保障」
(株)資源・食糧問題研究所 代表取締役 柴田 明夫氏
- ・第341回(2022年11月17日):ハイブリッド形式(参加者42名)
「SDGs経営の推進について」～なぜ企業にSDGsの視点が求められるのか～
(株)エシカルタイム 代表取締役 村上 彩子氏
- ・第342回(2023年2月20日):ハイブリッド形式(参加者33名)
「インバウンド再起動2023」
～インバウンド需要活性化に向けて私たちは何をすべきか～
(一社)ジャパンショッピングツーリズム協会 代表理事 新津 研一氏
- ・第343回(2023年3月17日):ハイブリッド形式(参加者16名)
「最新の不動産市況と今後の展望」～インフレと格差社会が市場を変える～
ネットワーク88 代表 幸田 昌則氏

- ②第40回流通問題アカデミー(2022年10月14日):ハイブリッド形式(参加者41名)
「イノベーションの本質」～競争戦略としてのイノベーション～
早稲田大学 名誉教授 内田 和成氏

③セミナー事業(IDR主催事業)

- ・第2期「食品流通の未来を考える」セミナー(2022年10月~2023年2月)
ハイブリッド形式(参加者:42社 78名)
協力:(株)ジャパン・インフォレックス、後援:(株)日本食糧新聞社
- ・SDGs講座・セミナー(新規)
講師の調整がつかず開催できませんでした。

<研究会事業>

- ・第39期IDRチャンネル戦略研究交流会(2022年4月~2023年3月)
参加企業12社 21名
テーマ:「コロナとの共存を模索する中での“再始動2022”」
～コロナ禍で進んだ顧客変化にどう対応するか～

<受託研修事業>

- ・第10期 北海道地域フード塾（絶品コース：29名、事業化コース：8名）
- ・北海道ワインアカデミー（マーケティングコース）
- ・全米販：創造力・イノベーション開発研修（参加者29名）

<HCF事業>

- ・第15回ホビークッキングフェア2022（4月27～29日）
運営事務受託（3年ぶりの開催：来場者数53,693名）

3. その他報告事項

- ・第16回ホビークッキングフェア2023より、運営主体をIDRに移管。みなし法人「ホビークッキングフェア委員会」の解散に伴い、255万円の寄付をいただいた。（2022年8月4日臨時理事会でご承認を頂いております）
- ・一般社団法人北海道貿易物産振興会との包括業務提携
- ・「食品流通の未来を考える」研究会（仮称）準備会発足